

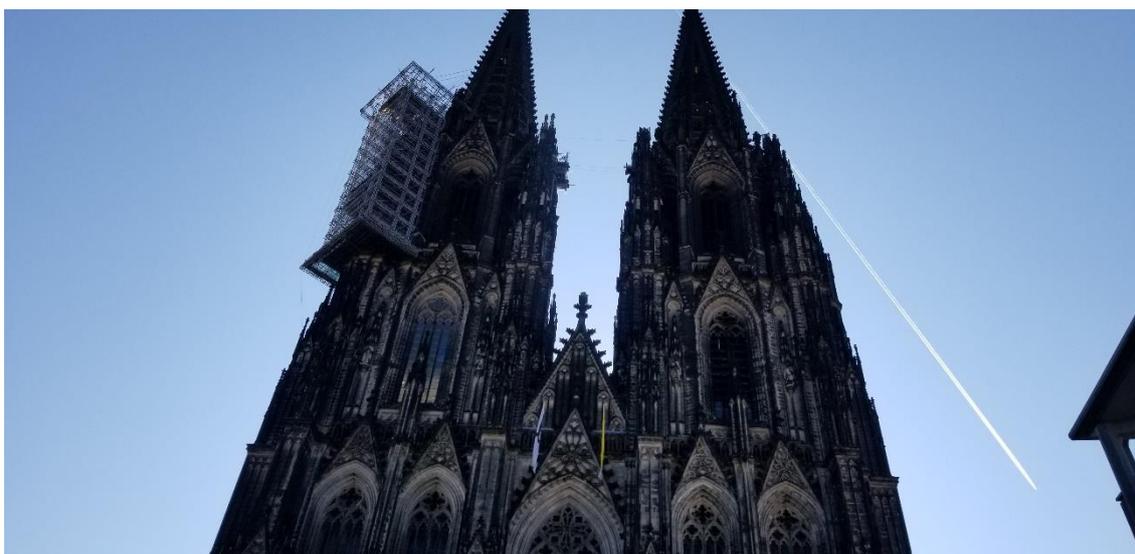
福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（6月分）

留学先大学：ハンブルク大学

氏名：長田優輝

みなさんこんにちは、長田優輝です。

私がハンブルクに来てからというもの毎月加速度的に体感時間が短くなっているような感覚がします。



今月の報告書では「趣味」の大切さについてを書いていこうかなと思います。

多くの人にとって留学先では日本にいるときよりも自分の時間、いわゆる暇な時間というものが増えるのではないかと思います。現在所属するハンブルク大学では基本的に授業はドイツ語で開講されており、ドイツ語があまり話せない私が受けることのできる授業は限られているため、自分の時間というもの非常に多くあります。個人的にはこういった膨大な時間をどう使うかということが留学をいかに最大化させるかにつながっているのではないかと思います。

日本にいたころであれば、暇な時間というものを得たら、自分の好きなようにそういった時間を処理できていました。しかし、いざ留学を始めて、周りの環境が大きく変わると膨大な時間の処理の仕方に悩むことになりました。当然海外に持ってくる荷物は限られているし、周りに日本と同じような環境がそろっていることもありません。言語が違うというのも大きな要因の一つでしょう。

そういった場合に一つでも「趣味」や「自分の興味があるもの」を持っているということは

大きな意味を持つと思います。当然こういった活動は待っていても機会が訪れるという可能性はものすごく低く、自分からPRをし、活動を広げていく必要があります。どんな趣味でも留学生活に活かせるかという、もちろん言った国やタイミングによってはそれができない可能性も考えられます。しかしただ交換留学に出て行って、その環境の中だけで生きていくよりも、活かさないにしろ自分の強みを見出し、自分から外に売り出していくという経験だけでも大きな意義があるのではと思います。

私の場合で言えば、この春semesterでは授業日は火曜日だけで、そのほか週6日は自分の時間です。留学に来てすぐ、4月の時点ではこういった時間の使い方がよく分からず、何もない時間が非常に苦しいものでした。5月に入り、徐々に自分から外の世界に活動を広げようと努力をし、幸運にも自分の興味を活かせる機会に恵まれ、今では平日は授業日以外は毎日課外活動をし、毎週ではありませんが、週末も課外活動を行うという生活を過ごしています。

自分の力で自分のやりたいことを活動として広げていくということは当然自分のやりたいことをやっているわけですから楽しいですし、非常に力と自信がついていくと思います。そしてそういった経験は今後の人生において大きな意味を持つものではないかと考えています。

「趣味」を持つということは非常に大きな可能性を秘めています。無理に趣味を持つ必要もないですが、趣味を単なる自己完結させるのではなく外の世界に広げていく経験をするのもひとつの大きな経験になるのではないのでしょうか。

最後に今月課外活動の一環で訪れたドイツはデュッセルドルフにていただいた非常においしかった豚骨ラーメンの写真で今月の報告書は終わりたいと思います。

さようなら

